

学 校 名	岐阜県立池田高等学校 (校長 松井 千昭)
活動の種類・単位	奉仕活動 家庭クラブやボランティア会の生徒が中心となり取り組んだ。
教育課程上の位置付け	特別活動

1 活動テーマ

赤十字の「人道・博愛」の精神に基づき、生徒一人一人が地域社会の平和と幸福に貢献できる人格と精神を形成するための教育活動の推進

2 主な活動内容

(1) 地域の環境保全のための啓発活動

家庭クラブを中心に一昨年度より行っている、地元の池田町を流れる東川の環境保全活動を継続して行った。今年は、6月に三重県桑名市にあるNPO法人「ネットワークわっこ」から依頼があり、小学生を対象に出前講座を実施した。当日は、子ども料理探検隊に参加してくれた20名の小学生の子どもたちとその保護者を対象に水に関する実験や環境すごろくゲームをしながら、きれいな川の水を維持していくために生活の中で気を付けると良いことを一緒に考えた。同じく6月に、池田町「ほたる祭り」に環境保全のブースを設置し、小・中学生を対象に体験コーナーを設け、環境に配慮した生活を心がけていただけるよう、ゲームを通して呼びかけた。また、8月には、東京で歌手のさだまさしさんが設立した「風に立つライオン基金」主催の「高校生ボランティアアワード2018」に出場し、ブース発表を行った。本校の家庭クラブの研究内容を知っていただくと同時に、地域の環境保全のために家庭でできることを呼びかけることができた。



▲ 桑名市での出前講座



▲ 高校生ボランティアアワード 2018

(2) 地元の池田町や各種学校と連携したボランティア活動

親子ふれあいなかよし教室、夏休み寺子屋学習会、ふるさと祭り、池田っ子まつり、福祉運動会等の地元の池田町で行われる行事に、毎年、継続してボランティア活動に参加している。また、揖斐特別支援学校で行われた運動会や夏祭り、生活発表会にボランティアとして参加したり、池田こども園の園児たちと交流活動も行った。人の役に立ちたいと思いボランティア活動に参加するが、活動を終わると、多くの地域の人の笑顔が自分の力になり、地域社会に貢献できることの喜びを実感することができた。

子供たちに付いた力	生徒自らが地域とかわかっていく中で、周りの人々を笑顔にできる喜びを味わい、豊かな心を育むことができた。また、発表を通してプレゼンテーション能力やコミュニケーション能力を身に付けることができた。
効果	本校の取り組みをより多くの方々に知っていただくとともに交流の輪が広がった。また、将来は看護や児童福祉、高齢者、障害者福祉に携わり、地元での活躍を希望する生徒が増えた。
今後の方向	今後も活動を継続し、本校の研究活動が地域に浸透していくような啓蒙活動を推進するとともに、よりよい生活を目指してさらに研究を深めていきたい。